

| 年間目標 | | 所属施設の理念や役割を理解することができる 専門職としての自覚を持ち自己研鑽に心がけ、知識・技術・態度を養い、指導を受けながら看護を実践することができる 社会人としての心構えができ、責任のある行動と良好な人間関係が構築できる | | | | | |
|-----------|--|---|---|---|--|----------------------------------|--------|
| 新人看護職員研修Ⅰ | オリエンテーション 研修 | 目的：所属施設の理念を理解し、看護チームの一員としての自覚を持ち、職場への適応ができる 目標 ①所属施設の組織と役割を知る ②病院の看護とその特殊性を知る ③職員としての心構えができる ④障害に応じた安全な看護技術を習得する ⑤施設内の構造・設備と特徴を知る ⑥安全で安心な療養環境が提供できる ⑦救命処置を習得する | | | | | |
| | | 月日 | 項目 | 内容 | 講師 | 場所 | 担当者 |
| | | 4/5 水 | ・オリエンテーション ・中央病院の組織と役割 ・看護部の概要と勤務の心得 ・看護協会のお知らせ ・人事評価 ・看護部ガイダンス ・師長紹介 | ○各種カード記入他、研修オリエンテーション ○病院の理念・病院職員としての役割 ○看護部の理念・倫理綱領 ○看護協会の紹介・入会方法など ○人事評価制度の実際 ○看護部の体制とキャリア開発 ○各師長紹介と新人自己紹介 | 教育担当看護副部長・新人担当師長 病院長 看護部長 看護協会担当師長 教育担当看護副部長 現任担当師長 教育担当看護副部長・新人担当師長 | 講堂 | 新人担当師長 |
| | | 4/6 木 | ・接遇 ・メンタルヘルス ・新人交流会 ・センター内見学 ・障害児・者看護Ⅰ―① | ○e-ラーニング「ビジネスマナー」 社会人に必要な言葉遣いや態度について ○危機管理理論を用いたメンタルヘルス ○仲間との交流を深める ○管理部門・駐車場・外来・検査室・放射線科など ○重症心身障害児・者の特徴（成長・発達など） ○摂食嚥下機能と摂食嚥下障害 | 担当者 精神看護専門看護師 担当者 重症心身障害看護師 摂食嚥下認定看護師 | 講堂 センター内 | 新人担当師長 |
| | | 4/7 金 | ・障害児・者看護Ⅰ―② ・家族看護Ⅰ ・看護記録 | ○呼吸障害のある患者の看護 ○スキンケアの基礎知識（皮膚の構造と様々な刺激、褥瘡予防） ○重症心身障害児・者の排泄ケア（紙おむつの知識と当て方） ○家族とは ○フォーカスチャータリング、看護計画について | 皮膚排泄ケア認定看護師 家族支援専門看護師 看護師 | 講堂 | 新人担当師長 |
| | | 4/10 月 | ・医療機器の取扱い① ・保育士の関わり ・障害児・者看護Ⅰ―③ ・個人情報の取り扱い ・看護技術演習① | ○SpO2 モニター、ECG モニター（講義+演習） ○病院とこぼと棟における保育士の役割、成長発達を促す関わり ○病児の心理 ○e-ラーニング「個人情報」、医療情報の適正使用、電子カルテ ○e-ラーニング「吸引」「膀胱留置」 | 臨床工学技士 保育士 小児看護専門看護師 担当者 担当者 | 講堂 | 新人担当師長 |
| | | 4/11 火 | ・医療安全Ⅰ―① ・ボディメカニクスの原理 ・医療機器の取り扱い② | ○医療安全管理体制とヒューマンエラー ○患者・介助者ともに安全な援助方法、腰痛予防について ○e-ラーニング「人工呼吸器」人工呼吸器の基礎知識（講義・演習） | 医療安全管理室 医療安全管理者 医師 臨床工学技士 | 講堂 | 新人担当師長 |
| | | 4/12 水 | ・看護必要度 ・個別支援計画 ・感染管理Ⅰ―① | ○医療・看護必要度について ○個別支援計画の作成、立案、評価 ○感染対策の基本・標準予防策と手指衛生（講義・演習） | サービス管理責任者 感染管理認定看護師 | 講堂 実技多目的室 | 新人担当師長 |
| | | 4/13 木 | ・看護技術演習② 演習の振り返り | ○吸引、経管栄養、導尿、排泄介助（演習） | 新人教育指導者委員（全日） | 講堂 実技多目的室 | 新人担当師長 |
| | | 4/14 金 | ・看護技術演習③ 演習の振り返り | ○吸引、経管栄養、導尿、排泄介助（演習） | 新人教育指導者委員（全日） | 講堂 実技多目的室 | 新人担当師長 |
| | | 4/17 月 | ・看護技術演習④ 演習の振り返り | ○e-ラーニング「採血」 ○点滴介助、採血（演習） | 新人教育指導者委員（全日） | 講堂 実技多目的室 | 新人担当師長 |
| | | 4/18 火 | ・看護技術演習⑤ ・医療機器の取り扱い③ ・輸液看護 | ○ e-ラーニング「輸液ポンプ・シリンジポンプ」 ○輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い（講義・演習） ○輸液中の患者の看護 | 担当者 臨床工学技士 看護師 | 講堂 | 新人担当師長 |
| | | 5/18 木 | ・障害児者・看護Ⅰ―④ ・感染管理Ⅰ―② ・障害児・者看護Ⅰ―④ ・医療機器の取り扱い④ ・MRI・CTの基礎知識 | ○重症心身障害児・者に必要な口腔ケアの知識と技術 ○障害者を取り巻く福祉制度について ○職業感染（血液・体液暴露事故防止、ウイルス感染症の感染防止） ○気管切開の基礎知識と合併症 ○在宅用人工呼吸器の取り扱い（講義・演習） ○MRI・CT 検査時の注意点、吸着事故について | 歯科衛生士 地域支援課 感染管理認定看護師 医師 臨床工学技士 放射線技師（ ） | 会議室 201-203 講堂 MRI・CT 室 | 新人担当師長 |
| 5/19 金 | ・障害児者・看護Ⅰ―⑤ ・看護技術演習⑥ 演習の振り返り ・グループワーク① | ○身体拘束について（講義動画+演習） ○カニューレ交換について ○カニューレ交換（演習） ○困っていること、不安なことについて意見交換する | 医師、 看護師 新人教育指導者委員 新人教育指導者委員 | 講堂 | 新人担当師長 | | |
| 6/28 水 | ・救命救急講習会 | ○普通救命救急講習Ⅱ | 消防署 | 講堂 | 教育担当師長 教育担当副部長 | | |
| 新人看護職員研修Ⅱ | 目的：看護判断の基礎と看護技術を学び、患者・利用者を尊重した態度やケアを実践する 目標 ①障害や病態に応じた観察技法の知識を得る ②コミュニケーションについて理解を深め、患者（利用者）家族との関係性の構築ができる ③心身ともにリフレッシュできる | | | | | | |
| | 月日 | 項目 | 内容 | 講師 | 場所 | 担当者 | |
| | 7/6 木 | ・障害児・者看護Ⅰ―⑥ ・フィジカルアセスメント① ・障害児・者看護Ⅰ―⑥ ・感染管理Ⅰ―③ ・医療機器の取り扱い⑤ | ○発達障害の子を抱える親の心理とその対応を学ぶ ○重症心身障害児・者に必要なフィジカルアセスメント ○重症心身障害児・者の呼吸ケア（排痰、呼吸介助と演習） ○洗浄・消毒・滅菌の基礎知識と中材の役割、医療材料の取り扱い ○e-ラーニング「医療ガス」 | 臨床心理士 小児看護専門看護師 看護師 感染管理認定看護師 担当者 | 講堂 | 新人担当師長 | |
| 7/7 金 | ・医療安全Ⅰ―② ・障害児・者看護Ⅰ―⑦ ・レクリエーション ・グループワーク② | ○起こりやすいリスク ○患者・家族とのかかわり方、コミュニケーションの重要性 ○心身ともにリフレッシュする ○3か月を振り返る（嬉しかったこと、困っていること） | 医療安全管理室 医療安全管理者 看護師 担当者 新人教育指導者委員 | 講堂 | 新人担当師長 | | |
| 新人看護職員研修Ⅲ | 目的：障害児・者を取り巻く多職種の役割を理解し、チームメンバーとして指導を受けながら看護実践ができる 目標 ①看護倫理についての知識を得る ②多職種の役割が理解できる ③看護チームの一員としての役割が理解できる ④インシデント報告を速やかに行い今後の対策を考えることができる ⑤救命・救急について理解する ⑥特殊性のある看護技術を学ぶ | | | | | | |
| | 月日 | 項目 | 内容 | 講師 | 場所 | 担当者 | |
| | 9/28 木 | ・フィジカルアセスメント② ・救命・救急 ・薬の基礎知識 ・看護倫理Ⅰ ・死後のケア | ○急変時のフィジカルアセスメント ○救急蘇生法、心臓マッサージ、バギング ○よく使われる薬、調剤の仕組み ○倫理とは何かを考える 倫理的感受性を高める ○臨終時の家族への対応 死後のご遺体の変化やケアについて | 小児看護専門看護師 看護師 薬剤師（ ） 家族支援専門看護師 看護師 皮膚排泄ケア認定看護師 | 会議室 201-203 | 新人担当師長 | |
| 9/29 金 | ・医療安全Ⅰ―③ ・虐待防止法について ・在宅支援 ・チームメンバーの役割 ・グループワーク③ | ○自己のインシデントを振り返る ○虐待防止法について、権利擁護について ○地域包括ケアシステムと地域支援課の役割 ○e-ラーニング「メンバーシップ・フォロワーシップ」 ○チームメンバーとして働く中で、看護実践上の不安や困り事について意見交換し、具体的課題を考える | 医療安全管理室 医療安全管理者 精神保健福祉士 地域支援課看護師 担当者 新人教育指導者委員 | 講堂 | 新人担当師長 | | |
| 新人看護職員研修Ⅳ | 目的：一年の看護実践を振り返り、自己の課題を明らかにする 目標 ①患者の状態に即した看護について考え実践できる ②自己を振り返り、今後の課題や看護観について考えることができる | | | | | | |
| | 月日 | 項目 | 内容 | 講師 | 場所 | 担当者 | |
| 1/11 木 PM | ・看護技術演習⑦ ・病棟紹介 ・グループワーク④ | ○シミュレーション演習 ○新人看護師が自分の病棟を紹介する ○目指す看護師像とそれに向けた今後の課題 | 新人教育指導者委員（全日程） | 講堂 | 教育担当師長 | | |